



美しヶ丘

発行者 美しヶ丘
自治会文化広報部

自治会費納入のご確認を！

次回の自治会費の銀行引落しは

令和4年8月1日(月)です。

引落前日までに、口座残高などの確認をお願いします。

明神山の桜



義務教育学校4月からスタート！

奈良県で初めての分離型義務教育学校として、王寺南義務教育学校の太子学舎と畠田学舎が4月より開校しました。

今までの校区である太子・明神・南元町地区に、新たには畠田地区からの児童が加わり156名が増え、太子学舎には527名、畠田学舎には469名の児童が通っています。

両学舎は離れていても一つの学舎として、オンラインや一緒に行事活動などで心を繋いでいくそうです。学習面では無線LANでタブレット学習、欠席児童へのリモート学習などインターネットを活用したさまざまな学習活動に取り組みられてゆきます。校舎は部分的に改装や増築が施され、体育館



太子学舎 校門前



太子学舎 体育館



太子学舎 ランチルーム

は避難場所としても使われる為、床の張替え以外にトイレ改装と冷暖房が完備されました。図書室はメディアセンターになり、先端技術を取り入れ、学習環境の充実を図っています。

太子学舎は、4年生が最高学年となり、小さいながら責任感やリーダーシップが芽生え、成長が期待できるそうです。

畠田校舎は、中一ギャップがなくなり、スムーズに進級できる安心感があるといえます。二学舎の一体感の醸成と交流の仕方などがこれからの課題とのことです。

また、9年生を中心に学習や部活動に全力を注ぐだけでなく、自立・希望に向かって響きあっていくそうです。子どもたちは、奈良県初の分離型義務教育学校の先駆けとして突き進んで行ってくれるでしょう。

また、地域との関りも深く、地域ボランティア・王寺南サポーター・見守り隊・母の会・自主防災会の皆様が子どもたちの為に何かしたいと、いつも動いてくださっていると語っていただきました。荒木校長先生の「ありがたうのあふれる学校」にしたいの思いと共に「ありがたうのあふれる自治会地区」でありたいですね。



畠田校舎 メディアセンター

久しぶりの「ホッとさろん」

4月26日(火)、5月24日(火)、一年ぶりに美しヶ丘集会所で「ホッとさろん」が開催されました。

コロナ禍の続く中、計画通りの運営が難しく「ホッとさろん」代表の中桐さんはじめ、運営スタッフの方々も大変苦労されたことと思います。

「ホッとさろん」に参加されたお客様は、「待ってました」「うれしいです」などと、一年ぶりのサロンを多に楽しまれている様子でした。なお、消毒、体温測定、距離、換気などコロナ感染対策に充分配慮された上での開催でした。



大掃除実施

5月29日(日)、大掃除が実施されました。皆様、暑い中ありがとうございました。

明神3丁目児童公園で大掃除についてのインタビューをしました。

☆こういう場を通じてお互い和気藹々と顔見知りになっておき、いざという時に(防災時に)この公園に集まった際にお互い助け合えるような機会となれば良いと思います。

☆若い方に来てもらえるのはすごく嬉しいです。若い方のこれから原動力に期待しています。

☆2年ぶりにこうして集まって、クリーンキャンペーンという一つの目的に取り組み、顔見知り同士改めてコロナで離れかけていた絆というものを確認できたように思いました。

お掃除を地域のみんなですることと地域の絆が生まれ、被災時の自助、共助がスムーズにできるようになればいいですね。



王寺町へ 土木工事の 要望を しました



本年度の総会での住民の皆さんの要望等を踏まえ、王寺町に対して次のような工事の実施を要望しています。

1. 道路維持修繕工事
(既設舗装の修繕、陥没による補修、道路排水処理の改善等)

- ① 明神4丁目地内
- ② 明神1丁目と2丁目境道路
- ③ 明神1丁目地内
- ④ 明神3丁目地内

2. 水路改良・維持修繕工事

(水路勾配の改善、水路蓋、水路肩の補修等)

- ① 太子3丁目東側のり面排水溝、補修及び土砂流失部分の補修
- ② 太子3丁目と畠田公園間の水路に掃除用タラップの2箇所設置
- ③ 明神1丁目バス停横階段上の車止めポールが破損している。交換希望
- ④ 太子1丁目と小学校の間の階段横の除草、剪定
- ⑤ 王寺香芝幹線道路と太子3丁目交差点部分の赤色塗装
- ⑥ 太子3丁目の樹木の伐採
- ⑦ 明神3丁目南側の樹木の伐採と除草
- ⑧ 王寺香芝幹線道路のさつきの捕植
- ⑨ 鳥居公園の高木伐採後に桜(3本程)の捕植
- ⑩ 明神3丁目児童公園改修

- ⑪ 各児童公園の桜等樹木が大きくなり、電線等に接触しているの剪定希望
- ⑫ 各児童公園外周柵に錆が出ているので、塗装希望
- ⑬ 各児童公園に健康遊具を設置の打診
- ⑭ 樹木の剪定について、街路樹のコブシは花が付くように剪定希望。また、畠田に下りる道路のイチヨウは電線に掛からない側はゆるめの剪定を希望

義務教育学校の郷土学習実施

5月27日午前中、6年生4クラス107人が王寺町の史跡を巡る郷土学習をしました。観光ボランティアガイド10人に引率され、2コースに別れて出発しました。

コース1は、永福寺→火幡神社→親殿神社→片岡王寺跡→達磨寺

コース2は、白山姫神社→乳垂地蔵→大神宮灯籠→芦田池→片岡王寺跡→達磨寺

私たちが住む王寺町の歴史や風土に触れ、ガイドの説明に真剣に耳を傾けていました。身近にある史跡に触れることで、地域の理解が深まり郷土愛が育まれることを願っています。

この後、生徒たちは学校に帰り、郷土学習で学んだことを発表する予定です。



まほろばオリーブ園の紹介

4月11日(月)、まほろばオリーブ園の発案者池田様(畠田在住)のご自宅にお伺いし、お話を聞くことができました。

定年後に何かしたいとの思いから、育つかどうかも分からないまま8年前、わずか12本の苗木から始められ、現在ではまほろばオリーブ園(南元町法面)に960本、明神山登山口に50本、合計約1000本のオリーブを育てておられます。苗木にもこだわり、香川産・沖縄産を厳選して植えておられるとの事です。

オリーブは水やりがいらず自然のまま育ち、根が主幹のように張り、土砂災害対策にもなるうえに景観が良いなど、理にかなった植物なのです。

これからも田んぼや耕作放棄地など排水状況をみて土地の改良を施しオリーブ園を増やし、王寺町内1300本を目指しておられるそうです。

また、今年6月にはイタリアより搾油機を取り寄せ、畠田に加工場を造り、大阪産業大学、奈良女子大学とコラボし、ボトルデザインや加工商品の試作などにも力を入れていくそうです。2～3年後を目標に「王寺町産オリーブ油」のブランド化と発売が楽しみでなりませんね。王寺町とも産・官・学の連携でブランド化により王寺町の益々の発展を期待します。

1000年保つと言われるオリーブ園、花の満開は5月中旬、実収穫は9月だそうです。機会があれば、一度見に行かれてはいかがでしょうか?(但し、急斜面の為フェンス越しで)



南元町のり面



明神山登山口



スウェーデントーチ

余談にはなりますが、池田様より役に立つアイテムとして、スウェーデントーチのご紹介もいただきました。

スウェーデントーチとは、伐採した木を活用し丸太に切り目を入れて作る焚火道具です。シンプルな構造ながら、とても燃焼効率が良く、上部の火力はかなりものだそうなんです。

見た目もおしゃれでシンプル。キャンプなどにも人気のアイテムだそうです。



テレビ共同受信について

トラブル等の窓口 0120-950-144

(24時間無休)

各種契約等の窓口 0120-333-990

9時～21時(日祝17時まで)